



「土浦・勝田統括センターの新設について」団体交渉開催！その①

①「土浦・勝田統括センター」の新設の目的を明らかにし、安全で働きやすい職場環境を構築すること。

確認事項 安全最優先の施策とし、事故・事象を共有できる体制を構築する。

組合：本施策の目的や詳細を明らかにすること。

会社：システムを超えて新たな価値の創造を一層推進していく観点から、社員一人ひとりの成長意欲に応え、活躍フィールドを拡大させてこれまでの役割分担にとらわれない柔軟な働き方を実現していくため、各統括センターを新設する。

組合：安全を最優先に事故や事象を共有できる体制を構築すること。

会社：安全はトッププライオリティであり、最優先する施策とする。CS会議等、全員参加出来ない場合でも共有できる体制はつくる考えである。

②「土浦・勝田営業統括センター」の成果と課題を明らかにすること。また、統括センターの組合員・社員の働き方・業務内容を明らかにすること。

確認事項 安全レベル・お客さまサービスレベルを向上する施策とする。

組合：土浦・勝田営業統括センターの成果と課題を明らかにすること。

会社：営業統括センター内で相互運用により、柔軟な働き方が醸成出来た。

組合：企画グループと業務グループを設置する理由を明らかにすること。

会社：企画グループは企画業務が中心、業務グループは駅の作業ダイヤや乗務行路を担うこととなる。企画グループ社員が作業ダイヤ等に従事する場合もある。駅の作業ダイヤ数や乗務行路数、循環交番等に変更はない。

組合：今年3月に発足した水戸統括センターの成果を明らかにすること。

会社：職場総体でイベント対応や乗車指導、臨時改札等を行ってきた。今後も安全レベル・お客さまサービスレベルは向上する考えである。

③3つのユニットを設置する目的や人数規模を示すこと。また、各ユニットに組合員・社員を配置する際には、本人希望を尊重すること。

確認事項 本人希望を把握し、管理者とコミュニケーションを図り決定する。

組合：ユニット制を設置する目的を明らかにすること。

会社：全社員が企画業務に携わるためである。

組合：ユニット制の配置について、本人希望を尊重すること。

会社：本人希望を把握し、管理者とのコミュニケーションを図りながら決定する。

④増収と運賃ほ脱対策のため、土浦・勝田統括センター総体で、特別改札や無人駅での精算業務を行うこと。また、お客さまサポートコールシステム稼働時間帯において、臨時の特別改札を行うこと。

確認事項 今後もイベント時には精算業務を行う。

組合：増収と運賃ほ脱対策を明らかにすること。

会社：イベント時には精算業務を行う考えである。

組合：今年、高萩駅で乗車券とグリーン券の不正乗車が報道された。南中郷駅無人駅に伴うのも一因であると認識する。無人駅での臨時の改札業務やお客さまサポートコールシステム稼働時間帯での改札窓口を開ける等、対応を行うこと。また、グリーン車の不乗区間を把握すること。

会社：お客さまサポートコールシステム稼働時間帯においてはお客さまサポートコールシステムで運賃收受を行う考えに変わりはない。グリーン車の不乗区間は調査する考えである。